

性暴力禁止法制定に向けて



だめっちゃ！DV

暴力を許さない社会をめざして

主催/NPO法人 全国女性シェルターネット

「第19回全国シェルターシンポジウム2016 in 大分」実行委員会

10月29日 土

11:30~

受付

13:00~14:00

開会セレモニー

14:00~16:00

基調講演

講師紹介:中島幸子さん (NPO法人レジリエンス)

「世界に広がる
ファミリージャスティスセンター」
~多機関連携による被害者のための正義実現をめざして~
ケイシー・グウィン
講師: Casey Gwinnさん
(ファミリージャスティスセンター理事・元サンディエゴ市検事)

16:00~17:00

質疑応答

代表質問者: 山崎菊乃 (NPO法人女のスペース・おん)
井上匡子 (神奈川大学教員)
コーディネーター: 北仲千里 (NPO法人全国女性シェルターネット)

19:00~21:00

交流会

大分市コンパルホール

文化ホール

オアシスタワーホテル

5階孔雀の間

10月30日 日

9:30~15:30

分科会 A・B

15:45~16:15

全体会

大分市コンパルホール

3階・4階・文化ホール

後援/大分県・大分県教育委員会・大分県警察本部・大分市・大分市教育委員会・大分地方法務局
大分大学福祉社会科学部研究科・大分県社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会・大分県人権擁護委員連合会
大分県民生委員児童委員協議会・大分県産婦人科医会・大分県精神病院協会・大分県精神科診療所協会
大分県弁護士会・公益社団法人大分被害者支援センター・法テラス大分・大分県社会福祉士会
大分県臨床心理士会・大分県助産師会・大分県社会福祉事業団・ソロプチミストみどり
朝日新聞大分総局・毎日新聞大分支局・読売新聞西部本社
大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分

分科会のご案内



分科会 A 午前の部 9:30~12:00

- A-1 我が国におけるワンストップセンターの可能性を模索する**
前日の基調講演を受け、ケーシーさんを交えて実際に、我が国で、たとえば、大分県の仕組み(行政・司法・民間)のなかで、当事者を中心にすえた支援の可能性を、具体的に模索する。
- A-2 当事者が求める性暴力被害者支援のための根拠法とは**
今、性暴力救援センターをつくるうという流れは着実に大きくなっています。今後は、当事者のニーズを満たすセンターとして機能しているか否かが問われます。当事者の求める支援とは何か、救援センターの要件を明記した根拠法を探ります。
- A-3 女性支援事業全体の底上げについて考える ~指針とガイドラインの活用~**
売春防止法60周年を迎えるいま、昨年3月にまとめられた「婦人相談員 相談・支援指針」および東京YWCAでまとめたDV被害者支援のガイドラインを紹介し、女性支援事業全体の底上げについて考える。
- A-4 ハーグ条約がもたらしたもの ~ひきさかれる子どもたち~**
ハーグ条約発効後、国内手続法のもとで何が起きているのか、子どもの権利保障の観点から論議をつくります。外務省ハーグ条約室からの報告を受け、支援事例から浮かび上がった課題を整理し、国内手続法の改正につなげる道筋を探ります。
- A-5 DV被害にあった女性と子どものための支援プログラム・凛(ring)**
~就学前から思春期まで:継続的な支援プログラムの意義について~
てらこやミモザ(学習支援・居場所づくり・食事提供プログラム)、思春期ワークショップなどを中心に就学前から思春期までの継続的な支援プログラムの実施の成果を発表し、合わせて各地域の取り組みを分かち合いながら、きれめないDV支援の質を向上させたい。
- A-6 デートDV防止教育の次の課題 ~加害者も被害者も作らない心地よい関係~**
リベンジポルノの問題なども含め、実際の被害者・加害者の状況改善に役立つためにはデートDV防止教育をどう改善していけばいいか。宮崎市での取り組みと、講師に伊田広行さんをお招きして、DVでない関係に変えるワークショップを行う。
- A-7 DV・性暴力によるトラウマのケアを考える ~マインドフルネスという視点から~**
精神科医でハコミセラピストの柳受良(ゆうすやん)さんをゲストスピーカーにむかえ、トラウマの治療で注目されているマインドフルネスについて学び、当事者支援や支援者のセルフケアに役立てます。
- A-8 女性のための護身術WEN-DO(ウェンドー)**
女性が自分の心と体を自分で護るために何ができるか?を身体を動かし、ディスカッションを取り入れながら、考えていきます。

分科会 B 午後の部 13:00~15:30

- B-1 被害者支援の一環としてのDV加害者プログラムとは ~警察庁・内閣府の対応を見据えた実践を考える~**
DV加害者プログラムを被害者支援の中にもまれるものとして位置づけ、警察と被害者支援とがコミュニティにおいて連携したDV加害者プログラムを実践しなければならない時代が来たと考えている。信田さよ子さんを交えて具体的実践にもとづき、2016年3月に発表された内閣府のDV加害者更正に係る報告書にも触れた内容を展開したい。
- B-2 より良い支援を考えるワークショップ**
シェルター運営のノウハウを共有する分科会です。さまざまな経験をもちより「いつでも、だれでも、どこからでも」の合言葉どおり、上質な支援の提供を求めて語り合しましょう。そして「私たちが元気になる!分科会」にしたいと思います。
- B-3 あなたの職場は大丈夫?~やってみよう、LGBTに対するセクハラ・モラハラチェック**
「LGBTに対するセクハラ・モラハラチェックシート職場編」を活用して、参加者それぞれのセクハラ認識を広げます。身近にある暴力防止啓発リーフレットやテキストの最新版を1点ご持参ください。
- B-4 議員フォーラム「包括的な性暴力禁止法の制定に向けて ~女性支援関連法案の整備~」**
若い女性や子どもたちの性暴力被害が顕在化しています。その被害実態の深刻さにもかかわらず、被害者に対する回復支援のための社会資源は未整備であり、加害者は不処罰のまま、性暴力犯罪は日々拡大再生産されています。国際水準に沿った性暴力禁止法制を実現するための具体策を論議します。
- B-5 DV被害者が働き続けるために ~シェルタースタッフがができること~**
パートナーからの暴力から安全に避難したいが、仕事を失いたくないために、シェルター入所を断念せざるを得ない被害者が多い。被害者が仕事を辞めずに安全を確保するためには、シェルタースタッフの、どのような職場への働きかけが必要かを模索する。また、そのためのスタッフが持つべき労働に関する知識を学ぶ。
- B-6 性質と女性支援 ~売春防止法改正に向けて~**
売春防止法改正が議論される中、現行法の婦人保護事業で本当に性質に関わる女性たちを支援できるのか。現状と課題を明確にする。
- B-7 子どもへの支援 ~心理教育テキスト「私の青いノート」の試み~**
DV被害を受けた母親とともに避難してきた子どもたちのための心理教育テキスト「私の青いノート」を昨年10月に作成し、購入者へのアンケートを実施した。アンケート結果を報告し、今後の子どもへの支援について、意見交換をする場としたい。
- B-8 ヨーガ療法 ~こころとからだのセルフケア~「ゆっくり呼吸」で自分を取り戻そう!**
ヨーガ療法は、その日の体調や気分に合わせて、その人のペースで、持てる力の範囲で行います。自分自身でからだのこころを癒す「4つの方法」をご紹介しますとともに、その中から自律神経のバランスが整い、感情のコントロールがしやすくなる「呼吸法」を一緒に体験したいとおもいます。自分自身に集中して、呼吸法や身体感覚を通じて、本来の自分を取り戻しましょう。気になる方は下に敷くタオル等をご持参ください。

参加申込方法

参加には**事前申し込みが必要**です。専用ウェブサイトから申し込みをしてください。

↓ 初回登録ウェブサイトURL ↓

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/SToita28ss/>



上記のQRコードに携帯のカメラをかざすと専用のウェブサイトを読み込みます。

今後の申し込みの流れ

ウェブサイト公開開始日 7月27日

ウェブサイト申込〆切日 9月30日

ステップ①

初回登録（団体情報をご登録いただきます）

専用ウェブサイト（上記URL）にて、初回登録をお願い致します。所属団体、代表者名、メールアドレスなどをご登録いただきます。

※必ず各団体様につき代表者1名のみ登録をお願い致します。

同じ団体にて複数の登録がございますと、審査する際にはじかれてしまう可能性がございますのでご注意ください。

ステップ②

参加資格審査 → 本登録案内メール送信

初回登録にてご登録いただいた情報を元に、参加資格の確認を致します。参加資格承認後、本登録サイトの案内をメールにてお送り致します。

※参加資格の確認にお時間をいただきますので、メールでのご案内は原則として1週間以内にお送りさせていただきます。

ステップ③

本登録

メールにて送られてきた本登録サイトより、大会要項のダウンロード、以下の項目をご登録いただきます。

- 同行者情報
- 大会1日参加もしくは大会両日参加
- 分科会の選択
- 交流会の参加の有無
- 弁当注文の有無
- 宿泊、飛行機の申し込み
- 託児の申し込み

※宿泊、飛行機の申し込みに関しては在庫数に限りがございますので、9月16日（金）までにお申し込みいただく必要がございます。

ステップ④

お支払い

支払いは登録期間（ウェブサイト〆切9月30日）終了後、支払案内のメールをお送り致します。そちらの内容に沿ってお支払いをお願い致します。

ステップ⑤

各種参加券ダウンロード

弊社にて入金確認がとれましたら、各種参加券のダウンロードが可能になります。

※入金確認をさせていただく際にお時間が必要となります。原則として1週間以内に発券が可能となります。

※決定分科会に関しては参加券ダウンロード時に判明致します。

ウェブサイトより各種参加券（バーコード付）をダウンロードして印刷し、当日大会会場までお持ち下さい。

※基本的にはインターネットによる申し込みになりますが、万が一インターネットにアクセスができない場合、電話でも対応いたします。ただし、繋がりにくい場合がありますので予めご了承ください。

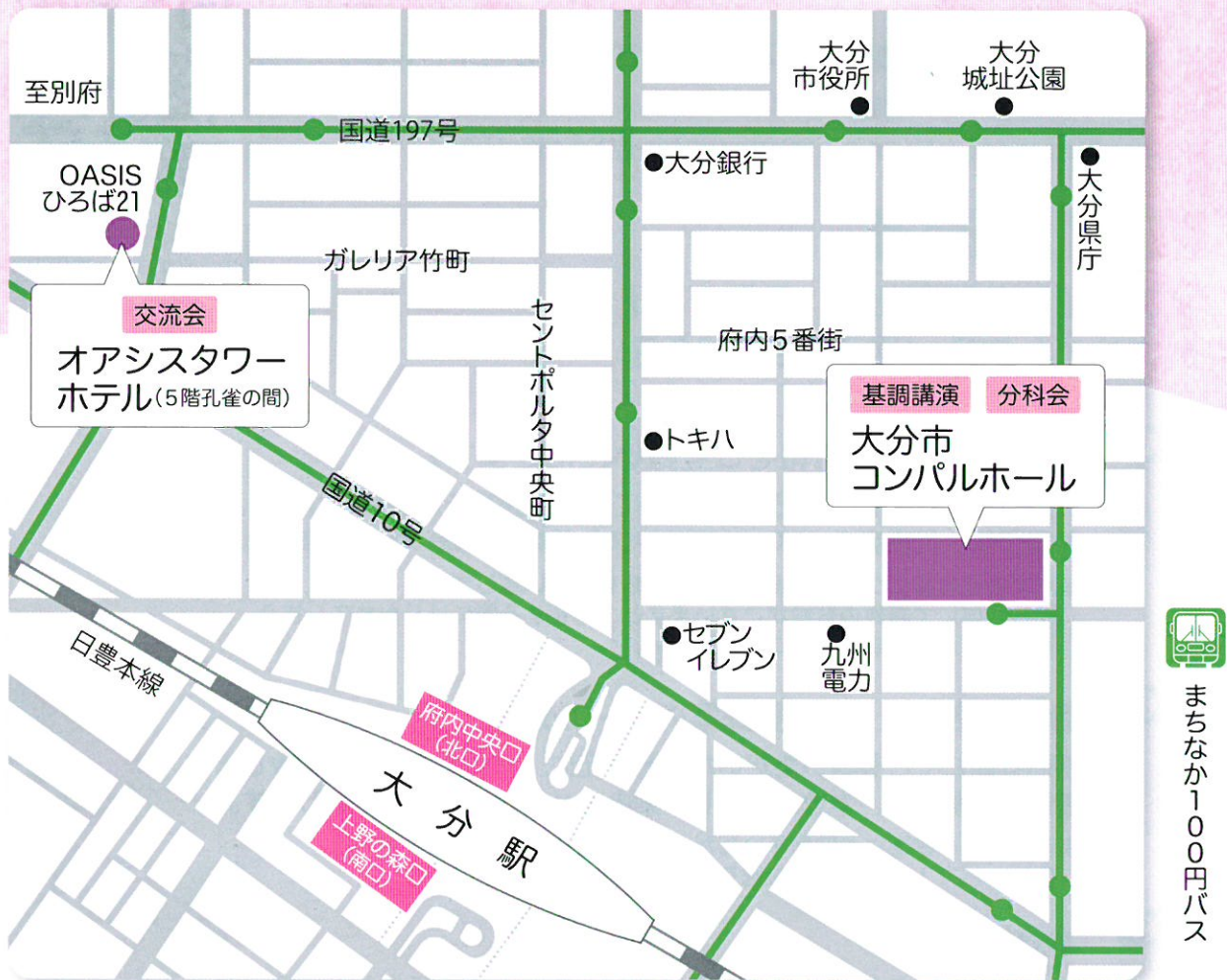
問合せ先



東武トップツアーズ株式会社


静岡支店 担当：中原・余湖

054-251-2337（平日9:00～18:00）FAX:054-252-9509



大分市コンパルホール 〒870-0021 大分県大分市府内町1丁目5番38号 ☎097-538-3700 <http://www.compallhall.jp/>
オアシスタワーホテル 〒870-0029 大分県大分市高砂町2-48 ☎097-533-4411 <https://www.oasistower.co.jp/>

交通アクセス



飛行機の場合

大分空港


↓

空港バス(約60分)

↓

J R 大 分 駅

府内中央口(北口) → コンパルホールまで徒歩5分
 府内中央口(北口) → オアシスタワーホテルまで徒歩8分



新幹線の場合

JR小倉駅

↓

JR日豊本線
(特急ソニックで90分)

↓

J R 大 分 駅

府内中央口(北口) → コンパルホールまで徒歩5分
 府内中央口(北口) → オアシスタワーホテルまで徒歩8分

参加費

- ▶ 1日参加 3,500円
- ▶ 両日参加 5,000円
- ▶ 交流会 5,000円
- ▶ 弁当(10月30日) 1,000円

「第19回全国シェルターシンポジウム2016 in 大分」実行委員会

連絡先 実行委員長 ☎080-2705-5624
 事務局 ☎090-1516-9565・☎080-1786-2680
 E-mail stopdv2016@gmail.com

